

特集

リハビリテーション医学・医療 update

リハビリテーション医学・医療を取り巻く環境は、今、大きな変革の時代を迎えています。その原動力の一つは、言うまでもなく本邦が直面する超高齢社会の進展です。脆弱性骨折、フレイル、サルコペニアといった加齢に伴う運動器疾患の克服は喫緊の課題であり、リハビリテーション診療には、従来の機能回復という概念を超え、生命予後の改善や健康寿命の延伸に寄与する包括的な役割が期待されています。

そもう一つの原動力は、日進月歩で進化を続ける科学技術の波です。再生医療や分子生物学の知見は筋・神経系の再生への道を拓き、ロボット工学やAI、ウェアラブル技術は、これまで熟練した治療者の経験則に依拠していた部分が大きかった運動機能の評価や治療を、客観的かつ定量的なものへと変えつつあります。さらに、デジタルトランスフォーメーション(DX)や遠隔リハビリテーションといった新たな概念は、医療提供体制そのもののあり方を大きく変える可能性を秘めています。

このような潮流に鑑み、本特集では、整形・災害外科領域におけるリハビリテーション医学・医療の“今”を的確に捉え、未来を展望することを目的に企画いたしました。各分野の第一線でご活躍中の先生方に、最新のエビデンスとご自身の豊富なお経験に基づいた論考をご寄稿いただいております。内容は、基礎的研究の最前線から、診断・評価技術の革新、新たな治療モダリティの実際、そしてわれわれが日常的に遭遇する疾患別のリハビリテーション戦略に至るまで、多角的な視点から網羅的に構成されています。

本特集が、専門医を目指し研鑽を積まれている若手の先生方には知識を体系的に整理する良い機会となり、また、指導的立場におられるベテランの先生方にはご自身の診療を新たな視点で見つめ直す機会となることを願っております。先生方が日々の臨床で直面する課題を解決するための一助として、本特集をご活用いただければ望外の喜びです。

結びに、ご多忙を極めるなか、本特集の趣旨にご賛同いただき、珠玉の原稿をご執筆くださいました先生方に、心より厚く御礼申し上げます。

(辻 哲也)